

運動方針の具体的な進め方

1. 磐石な組織の構築

(1) 機関会議の定例開催

組織運営において、活動の成果もさることながら、活動実績を確実に積み上げていくことが重要である。また、年間活動計画に沿った活動展開を図るべく、事前準備の徹底に努める。特に、職場のコミュニケーションや環境整備に取り組むうえで要となる職場集会については、定例開催を目指し取り組みを強化する。

(2) 役員の資質向上

磐石な組織を構築するには、確固たる組織運営とともに人材育成が必要不可欠である。労働運動およびフォームズユニオンの歴史から、組織防衛や組織拡大の必要性を学ぶと同時に、取り巻く環境の変化に的確に対応できる役員を育成する。また、次代のリーダー発掘や活動の継承を意識した取り組みを推進する。そのために、組合役員OBとの連携も強めていく。

(3) 専門部・青年委員会・女性活動の推進

組合員の身近な活動となる専門部と青年層や女性を中心とした取り組みを組織的に進めることで組織の活性化を図る。特に専門部活動については、部会体制を整えることで活動を強化する。

(4) 組合の求心力向上

充実した活動展開と円滑な組織運営に取り組み、運動方針を完遂するためには組合員の協力が必要となる。見える活動と組合員の心に寄り添う対応（活動の「報・連・相」）を図ることで、組合の求心力を高めていく。

【具体的な取り組み】

◆活動の可視化（見える化）と活動の実践的継承

◇活動の「報・連・相」の実践

◆職場集会の積極的な開催

◇人材育成プログラムの作成

◆新たな専門部体制の確立

◇女性推進委員会（仮称）の確立

◆組合役員OBとの連携

2. 活気ある職場の構築

(1) 職場のコミュニケーション活性化

Communication first の実践において最優先とすべきは全国の職場である。対話集会や世話役活動を推進する中で、職場のコミュニケーションを深めるとともに、組合活動の原点である助け合いの精神によって、活気ある職場の構築に取り組む。

(2) 職場環境の整備

安心して仕事に取り組むことができ、そこに働く者が十分に能力を発揮できる環境づくりに取り組み、働きやすい職場、働きがいのある職場を目指す。また、「ワーク・ライフ・バランス」の推進により、仕事と家庭を両立しやすい職場環境の整備を推進する。

(3) 安全衛生の取り組み

生産性を阻害する過度の時間外労働やストレスの軽減を図ることは重要な取り組みである。職場パトロールの実施や安全衛生活動を強化し、職場の安全と健康の確保を図る。

(4) 生活応援の取り組み

組合員が「安心して働き、そして安心して生活できる環境」を目指す上で、スケールメリットを活かした組合独自の福利厚生制度は大きな役割を担っている。取り巻く環境の変化に対応しつつ、更なる利用促進と公平で効率的な運用を目指す。

【具体的な取り組み】

- ◆対話集会の開催
- ◇世話役活動の推進
- ◆安全衛生の取り組み強化
- ◇職場パトロールの実施
- ◆各種共済制度の利用促進

3. 労使関係の健全化と対応の強化

(1) 労働諸条件の維持向上

生活の支えである給与と一時金、そして労働諸条件の改善に向け、4本部（4社）合同で年末一時金および春季生活闘争の労使交渉を行う。更に、各本部（各企業）での労使交渉や労使協議により、組合員の想いを伝えるとともに、業績反映部分の納得性を高めるべく取り組む。

(2) 小委員会および労使専門委員会の取り組み

春季生活闘争から派生した労使の継続課題を中心に、労使間のコミュニケーションの充実を図り、小委員会と労使専門委員会を活発に機能させることで、慎重かつ迅速な対応を行う。

(3) 職場の労使関係強化

本部、支部、分会にける労使協議ならびに労使懇談会の定例的な開催を継続することで、時間外労働の削減や年次有給休暇の取得促進などに取り組む。また、一年間の労働条件の一つである年間カレンダーにおいては、安易な変更を避けるべく、慎重な協議と責任を認識したうえで締結を行う。

(4) 労使事務局機能の充実

労使の事務局機能を充実させるには、相互の情報交換と迅速な対応が求められる。従って、日常の労使関係においてコミュニケーションを重視した対応を図る。

【具体的な取り組み】

- ◆年末一時金の取り組み
- ◇春季生活闘争の取り組み
- ◆労使専門委員会への対応
- ◇年間カレンダーの締結
- ◆労使協議会および労使懇談会の充実
- ◇労使事務局および事務連絡の適時開催

4. 対外活動への積極的な参画

(1) フォームズユニオン連合会への参画

IT化とグローバル化の進展により、企業経営において「選択と集中」を実行し、グループ全体の企業価値を高めることが求められている。労働組合も同様にグループ全体を視野に入れた活動展開が必要不可欠であり、グループ企業で働く仲間の労働諸条件および労働環境の向上を目指し、専従役員を中心にフォームズユニオンの役員が積極的に活動することで連合会の活性化に取り組む。

(2) 印刷労連への参画

印刷労連は、印刷産業で働く者の労働諸条件の改善と社会的地位向上を目指している。引き続き、フォームズユニオンは印刷労連の中核組織として役員を派遣するとともに、活動へ参画していく。全国の地域活動へは、本部および支部ならびに分会において積極的に参加していく。

(3) 連合活動の推進

連合は、企業内および産業別の労働組合で解決できない諸課題を政策制度として、政府や都道府県の各自治体に対して要求を行っている。引き続き、地方連合、地域協議会、地区協議会へ役員を派遣するとともに諸活動に参加し、社会の一員として責任を果たしていく。

(4) 友誼組織および他社労組との連携

友誼組織への参加については、役員派遣を継続することで、国内外の企業視察などに積極的に参加し、見識を広げる機会を確保していく。他社労組との連携においては、相互の情報交換と役員の交流を中心に対応を図っていく。

【具体的な取り組み】

- ◆フォームズユニオン連合会活動への参画
- ◇印刷労連活動への参画と地域活動への対応
- ◆連合の地域協議会および地区協議会への役員派遣
- ◇日本生産性本部および関東地方労組生産性会議への参画
- ◆富士社会教育センター首都圏推進委員会への参画
- ◇三多摩友好労組連絡会への参画
- ◆他社労組との相互交流